

海況速報

平成 11 年度 第 3 号 (通算 No.69)

平成 11 年 10 月 6 日

北海道立水産試験場

内容についてのお問い合わせは

中央水産試験場 海洋環境部

Tel 0135-23-4020

大変遅くなりましたが、8月の海況速報を送付いたします。今回から水産試験場で稼働中であるマリネット北海道の作図システムを用いた水温分布図となりました。作図システムに不慣れなため、図中で見にくいところが多々あるかと思いますが、今後改良していく予定ですのでご容赦いただければ幸いです。また、今回は非常に時間がかかりましたが、次回より相当の時間短縮が期待できますのでご期待ください。

インターネットでもごらんになれます。海洋環境部ホームページアドレス：

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

7月下旬～8月上旬の海況

☆日本海海域

2つの暖水域と冷水域出現

北海道西岸沖では、積丹半島西方沖の暖水塊が前回以降発達し、中心では100m層10℃以上となっています。これに伴い前回に暖水塊の沿岸側を北上していた対馬暖流は、暖水塊の沖側を大きく蛇行して流れています。さらに積丹半島北方沖には冷水塊(中心：100m層5℃以下)があり、対馬暖流はこの冷水塊の東の沿岸側と西の沖合側とに分かれて流れているようです。

水温について見ると、北緯45度30分線では、累年平均(*1)に比べ礼文島北西定点(東経140度53分)で、表面と200m層で+0.1～0.3℃、50mと100m層では-0.7～-1.3℃となっています。東経141度25分では表面から100m層まで-0.8～-1.5℃となっています。北緯44度30分線では累年平均に比べ、天売焼尻島周辺の東経141度15分で表面+1.6℃50m層+2.4℃100m層+0.6℃となっています。東経141度30分では+6.3℃とかなり高い値となっています。東経140度20分では表面から200m層まで-0.4～+1.1℃となっています。北緯43度30分では、累年平均に比べ、石狩湾湾口部(東経141度00分)表面で-0.4℃、50m層で-1.1℃、積丹岬北西沖定点(東経140度20分)では、表面で-0.5℃、50m層で-0.9℃、100m層で-0.3℃、200m層で-1.1℃となっています。瀬棚沖もっとも岸よりの定点(北緯42度30分、東経139度40分)では、累年平均に比べ表面で+0.6℃、50m層で+0.9℃、100m層で-1.7℃、200m層で-0.8℃となっています。松前西方沖北緯41度30分では、東経139度30分より西側では、累年平均に比べ各層ともに低くなっています。例えば渡島大島東方、東経139度30分では、表面で-2.1℃、50m層で-5.7℃、100m層で-4.9℃、200m層で-1.2℃となっており、50m層では過去10年間でもっとも低い水温となっておりま。

余市における7月下旬以降8月下旬までの沿岸水温(旬平均)は、平年値に比べ、7月下旬から8月上旬は+0.3～+1.0℃で「平年並み」から「やや高い」でしたが、8月中旬では+2.5℃と「非常に高い」となり、観測史上3番目の高い旬平均水温となりました。8月下旬では+1.7℃で「かなり高い」となっていました。

☆道東太平洋海域

大型暖水塊さらに北上

前回に道東沖にあった暖水塊はさらに北上し、北縁が北緯41度まで達したようです。(中心：200m層10℃以上)この暖水塊から北東側に暖水域が伸びています。親潮(100m層5℃以下)は前回には襟

襟裳岬西方までありましたが、今回8月では襟裳岬東方までまでとなっています。

水温についてみると、道東沿岸の50m層でもっとも岸寄りとなる定点の水温は、根室半島沖（北緯43度05分，東経145度45分）で、6.6℃（累年平均比-0.4℃，前年比+1.6℃），厚岸沖（北緯42度55分，東経145度00分）で6.9℃（累年平均比-2.3℃，前年比+1.5℃），白糠沖（北緯42度45分，東経144度00分）で6.5℃（累年平均比-1.2℃，前年比-0.4℃）となっています。

☆道南太平洋海域

津軽暖流が渦モード

津軽暖流は（例えば100m層10℃以上），前回の青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに南下する沿岸モード（*2）から渦モード（*3）になり，襟裳岬付近まで東方に張り出しています。

水温についてみると，浦河南西方観測線では，累年平均に比べ，浦河沿岸の定点（北緯42度10分）の100m層で+2.3℃，50m層で+2.1℃，表面で+1.6℃となっています。白老南方観測線では，累年平均に比べ，白老沿岸の定点（北緯42度20分）の200m層で+2.0℃，100m層で+0.1℃，50m層で+2.3℃，表面で+4.0℃となっています。恵山岬東側定点（北緯41度50分）では，累年平均に比べ，200m層で+1.3℃，100m層で-0.2℃，50m層で-0.4℃，表面で+2.1℃となっています。下北半島北側定点（北緯41度30分）では，200m層で-0.2℃，100m層で-1.3℃，50m層で-2.7℃，表面で+1.6℃となっています。白老沿岸定点の表面水温は過去10年間でもっとも高い水温となっています。

☆オホーツク海海域

宗谷暖流は順調に流れる

50m層水温を見ると，12℃以上の範囲が宗谷海峡から知床岬先端まで延びていて，宗谷暖流は順調に流れています。宗谷海峡から形成される冷水帯については，宗谷海峡から紋別沖まで連続して見られます。

水温についてみると，もっとも岸よりの表面水温は，浜頓別沿岸部で17.6℃（累年平均比+0.4℃，前年比+1.5℃），紋別沿岸部で16.2℃（累年平均比-0.9℃，前年比-1.4℃），網走沿岸部で21.1℃（累年平均比+3.0℃，前年比+3.7℃），知床岬沿岸部で16.7℃（累年平均比+0.5℃，前年比+0.7℃）となっています。もっとも岸よりの50m層水温は，浜頓別沿岸部で14.2℃（累年平均比+0.6℃，前年比+1.7℃），紋別沿岸部で14.5℃（累年平均比+1.2℃，前年比+2.5℃），網走沿岸部で15.6℃（累年平均比+3.3℃，前年比+2.1℃），知床岬沿岸部で13.7℃（累年平均比+1.3℃，前年比+1.2℃）となっています。

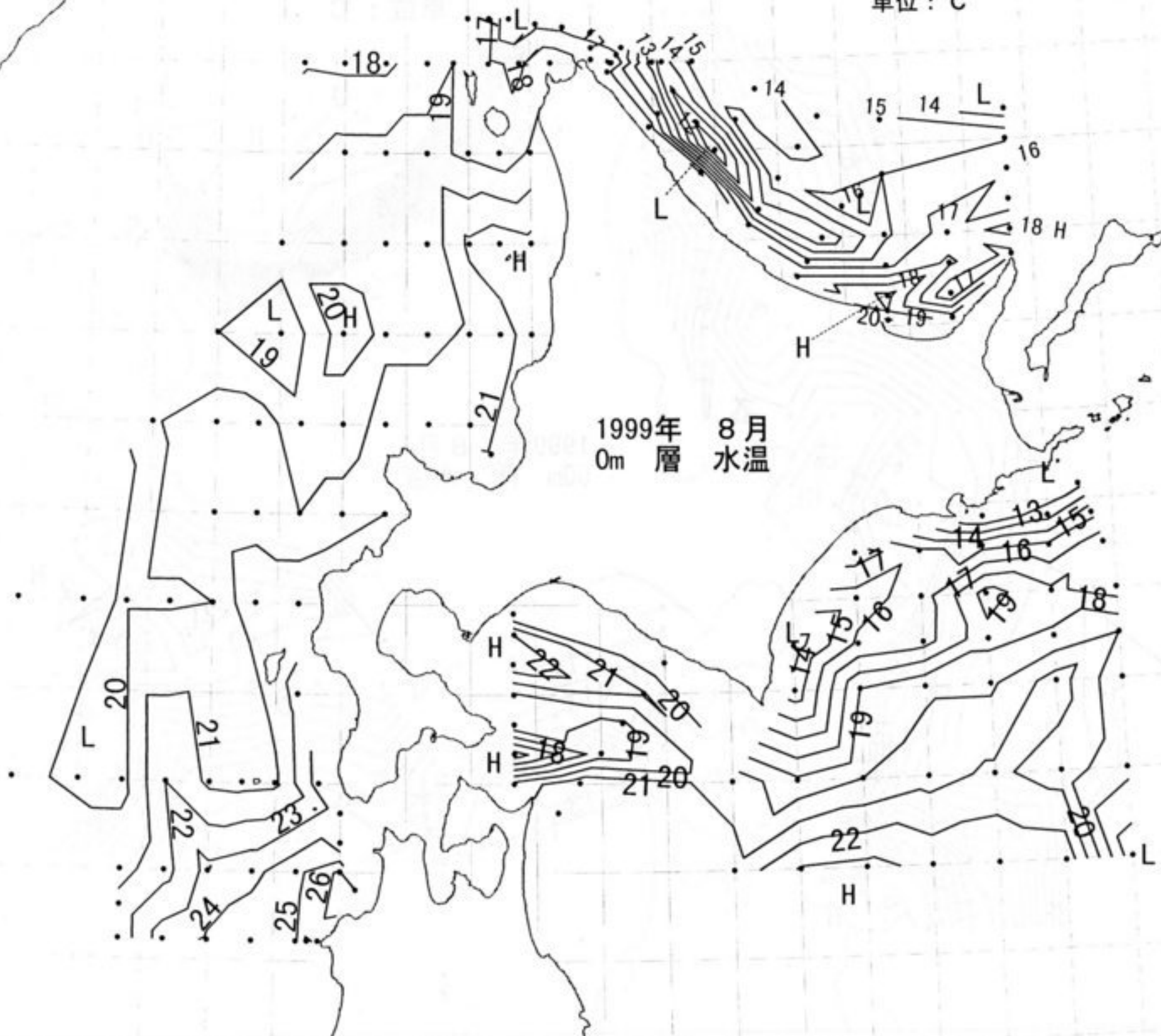
資料	観測期間	
青森水試（東奥丸）	平成11年8月2日から同8月3日	（東北日本海海域）
稚内・中央水試（北洋丸）	平成11年7月27日から同7月29日	（道北日本海海域）
稚内・中央水試（北洋丸）	平成11年8月2日から同8月4日	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成11年8月2日から同8月5日	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成11年7月26日から同7月28日	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成11年7月26日から同7月29日	（道西日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	平成11年8月2日から同8月3日	（道北日本海海域）

*1：平成元年(1989)～平成10年(1998)までの平均値を使用しました。

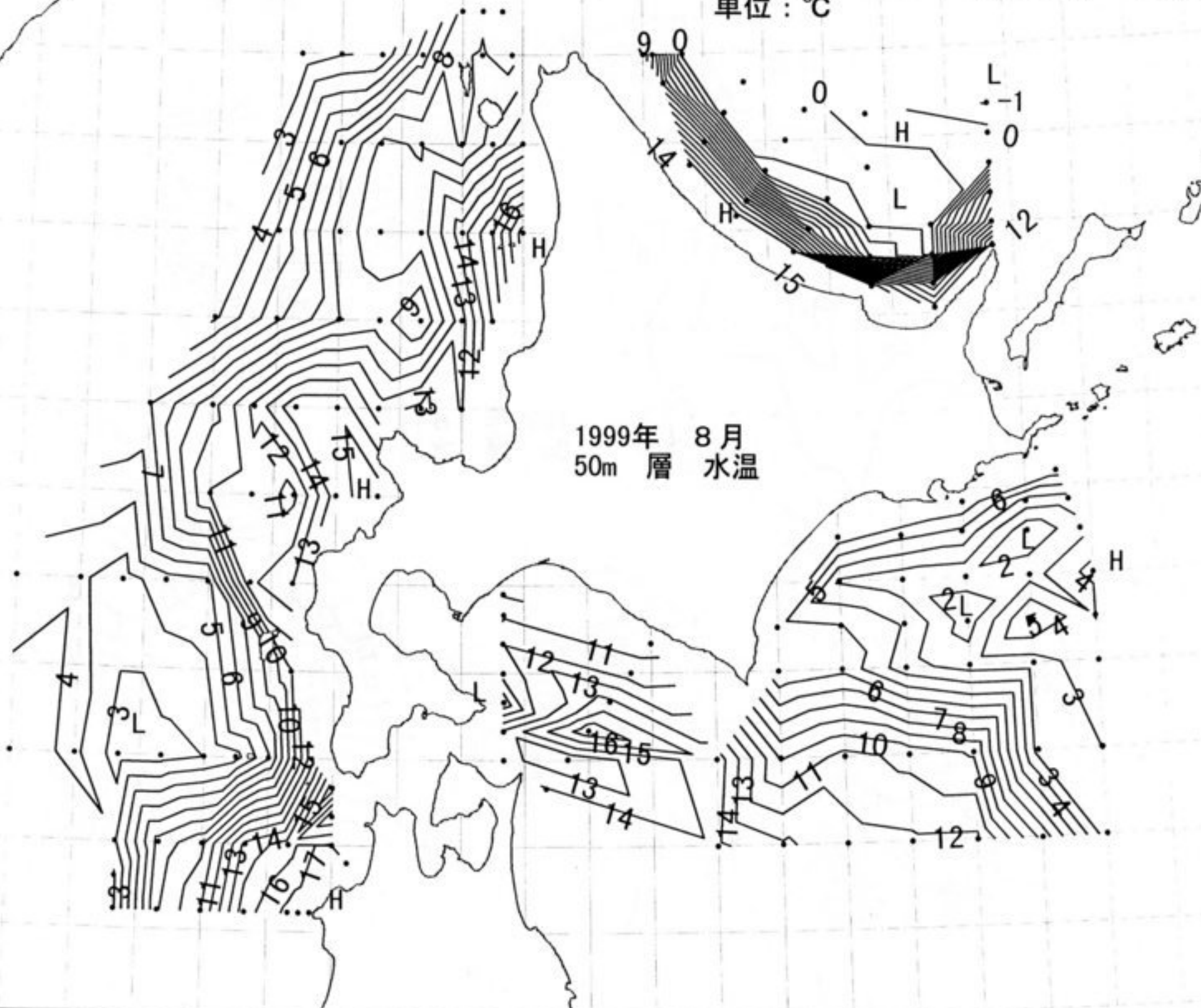
*2：津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を，津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。

*3：沿岸モードに対して，津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。

調査期間：1999年7月26日－8月5日
単位：°C



調査期間：1999年7月26日-8月5日
単位：°C



1999年 8月
50m 層 水温

調査期間：1999年7月26日－8月5日
単位：℃

